

Asia Medical Massage  
Instructors Network

2011年12月AMINモンゴル出張  
報告書

期間：平成 23 年 12 月 25 日～12 月 27 日

## 2011年度モンゴル出張概括

2011年12月25日（日）～27日（火）の日程で、モンゴル出張を行いました。今回の出張目的は、①モンゴル盲人協会附属職業訓練センターの授業を視察すること、②特別講義の開催、③モンゴル盲人協会と今後の活動について打合せ、の3点でありました。

AMINからは、形井教授、藤井准教授、小野瀬技術係長その他、BMINのメンバーであり、2008年から共にAMINのモンゴル支援に関わっていただいた岡山県立盲学校の竹内昌彦氏の4名が参加しました。

2011年12月 筑波技術大学 AMIN 推進委員会

○12月26日（月）

10：00～盲人協会附属職業訓練センター施設見学

校長であるガンゾリグ氏の案内で職業訓練センターの施設見学をおこなった。

○10：30～授業視察その1

場所）モンゴル盲人協会付属職業訓練センター内教室

ガンゾリング氏によるメディカルマッサージコースの生徒10名を対象とする経穴の番号と名称および主治についての授業を視察した。経穴の名称は日本語で学んでおり、弱視の生徒は墨字でまた全盲の生徒は点字にて熱心にノートを取っていた。



メディカルマッサージコース

1年間のコースで約1,000時間のカリキュラムで実施されている。定員は10名。時間割として午前は講義、午後はマッサージ実技をおこなう。

リラクゼーション・マッサージコース

半年間のコースで午前中のみマッサージ実技をおこなう。現在14名の生徒に対し教師2名が実技指導をおこなっている。

○11：00～授業視察その2

場所）モンゴル盲人協会付属職業訓練センター内教室

モンゴル伝統医療大学講師のCHULUUNCHIMEG Damdinbaza 女史によるメディカルマッサージコースの生徒10名を対象とする解剖学の授業を視察した。当日は通常の授業日ではなくAMINのために特別に実施してくださった。モンゴル伝統医療大学から人骨（頭蓋骨、骨盤、大腿骨等）を持参して、全盲の生徒一人ひとりに対し触察をさせながら説明をしていた。



### ○11：30～解剖模型贈呈式

場所) モンゴル盲人協会付属職業訓練センター内教室

今回モンゴル盲人協会へ解剖模型を寄贈するために、関節模型、上下肢の筋肉模型を持参した。簡単な解剖模型の贈呈式をおこない、その後梱包を開封しメディカルマッサージコースの生徒に直接触ってもらった。寄贈した解剖模型（日本スリービー・サイエンティフィック社製）は次のとおりである。

肩関節機能モデル	2個
肘関節機能モデル	2個
股関節機能モデル	2個
膝関節機能モデル	2個
上肢の筋肉6分割モデル	2個
下肢の筋肉9分割モデル	2個

### ○13：00～特別講義

場所) モンゴル盲人協会付属職業訓練センター内教室

形井教授から AMIN のモンゴル支援についての概略説明があった。その後、メディカルマッサージコースとリラクゼーション・マッサージコースの 24 名に対し、岡山県立盲学校の竹内氏から、今回学校に対し出資することになった詳しい経緯についての講話があった。

### ○14：30～モンゴル盲人協会施設見学

ガンゾリグ氏の案内で盲人協会の施設見学をおこなった。

### ○15：00～今後の活動と協力関係についての話し合い

場所) モンゴル盲人協会

参加) Bayasgalan 氏、Gerel 氏、Ganzorig 氏  
形井、藤井、竹内、小野瀬

#### 1. 盲人協会会長 Bayasgalan 氏より、現状報告

##### 1) 今後の学校運営に関する計画

－運営費については、台湾政府に対し 30 名分の援助を申請したが、20 名分（3 万ドル）のみ認められた。そのため、生徒数を減らす話があったが、生徒からの反対もあり、経費節約をすることで対応している。また、来年度の公務員給与が 50% 以上上昇することから、政府に対し援助を働きかけるとともに職員の削減も考えている。

- －2010年10月15日（視覚障害者の日）に保健省、社会福祉労働省、教育・文化・科学省の方々に訪問してもらった。メディカルマッサージコースを専門学校として国に認定してもらえると、国から予算が支給される可能性がある。現在、認定のための書類作成を行っており、2月に申請、4月に認定される予定である。
- －マッサージ師資格試験については、1年前に保健省の大臣と話し合いを持ち、資格試験の実施について了承を得ている。今後は、ライセンス担当者と内容を詰めるよう指示があり、10月15日にはカリキュラムについて話し合いを持った。また、保健省から試験内容について晴眼者用とは別の基準を定めるとの口頭での回答があった。70～80%の確率で試験を実施してくれるものと考えている。

## 2) モンゴル盲人協会について

- －AMIN から「現在日本の盲学校に3名の生徒が在籍しているが、卒業者が教員として帰国する可能性があるのか。」との質問に対し、盲人協会から「本人もその意思があるようだし盲人協会側でも教師として就職するよう話している。」との回答があった。
- －一般の専門学校の教員の条件としては、修士か博士が必要である。そのため、日本の盲学校に在籍している3名が教員として毎年盲人協会に就職するのと入れ替りに、ガンズリング氏を日本の大学の修士課程に入学させたい。
- －日本の盲学校で学ぶ3名が教員として帰国した場合、当初からガンズリング氏の助手として貢献している助手2名の立場が不利になる。そのため、この2名を日本で学ばせたい。

以上